

## 申命記 5回

### 「カデシュ・バルネアからセイル山までの移動」

#### 申 2：1～8

#### 1. はじめに

(1) イスラエルの民は、正しい世界観と人生観を持つ必要があった。

- ①自分たちは、どこから来たのか。
- ②自分たちにカナン之地を与えると約束してくれたのは、誰か。
- ③カナン之地で生きる目的は何か。

(2) 申命記のアウトライン（宗主権契約の形式）

- ①第1の説教：歴史の回顧（1：5～4：43）
- ②第2の説教：契約に基づく義務（4：44～26：19）
- ③第3の説教：祝福と呪いの宣言（27：1～29：1）
- ④第4の説教：契約条項のまとめ（29：2～30：20）

(3) 2章のアウトライン

- ①カデシュ・バルネアからセイル山まで（2：1～8）
- ②モアブとアンモンを迂回（2：9～25）
- ③ヘシュボンの王シホンに対する勝利（2：26～37）

#### 2. メッセージのアウトライン

- (1) 新しい出発（2：1～3）
- (2) エサウの子孫への配慮（2：4～6）
- (3) 神の守り（2：7～8）

#### 3. 結論

- (1) 申 2：7 と詩 23：1 の対比
- (2) エサウに対する約束から学ぶ教訓

### カデシュ・バルネアからセイル山までの移動について学ぶ

#### I. 新しい出発（2：1～3）

##### 1. 1節

**Deu 2:1** それから、私たちは向きを変え、【主】が私に告げられたように葦の海の道を荒野に向かって旅立ち、長らくセイル山の周りを移動していた。

(1) ここから、モーセによる勧告のメッセージではなく、歴史の記録に入る。

①主語の「私たち」は、これが歴史的出来事の記録であることを示している。

(2) 「私たちは向きを変え、【主】が私に告げられたように葦の海の道を荒野に向かって旅立ち、」

①申 1：40 の命令

Deu 1:40 あなたがたは向きを変え、葦の海の道を通して荒野に向かって旅立て。」

②カデシュ・バルネアから南に向かう。

③紅海まで行き、次に東に向かう。

(3) 「長らくセイル山の周りを移動していた」

①申 1：46 には、「長い期間」という言葉があった。

Deu 1:46 こうしてあなたがたは、実際にあなたがたとどまったとおり、長い期間カデシュにとどまった。

②「長い期間」（申 1：46）と「長らく」（申 2：1）の違い

③ヘブル語では、ともに「ラブ」である。

④前者は恐らく数週間、後者は 38 年間である。

(4) 訳文の比較

「長らくセイル山の周りを移動していた」（新改訳 2017）

「長い間セイルの山地を巡った」（新共同訳）

「日久しくセイル山を歩きめぐっていたが、」（口語訳）

「長いことセイル山のあたりをさまよったあげく、」（リビングバイブル）

①これは、エドムの地にあるセイル山の周辺で遊牧生活をしたということ。

②高地なので、移動するのは容易でない。

③セイルの山地は、エサウの領地である（創 36：8）

Gen 36:8 それでエサウはセイルの山地に住んだ。エサウとは、エドムのことである。

(5) モーセは、セイル山の周りを移動したことに関しては、詳細を記していない。

①それは、意味のない期間、失われた 38 年間だからであった。

②しかし、神の約束は変わらない。

③神は、イスラエルの新しい世代を約束の地に導かれる。

## 2. 2～3 節

Deu 2:2 【主】は私にこう言われた。

Deu 2:3 「あなたがたは長い間この山の周りを移動してきたが、北の方に向きを変えよ。」

- (1) 38年後に新しい命令が下った。
  - ①ここでの「長い間」も、ヘブル語の「ラブ」である。
  - ②民は、セイル山の周りを、西に、南に、東に、目的もなくさまざまに迷っていた。
- (2) 「北の方に向きを変えよ」
  - ①ここから再び、カナンの地に向かう旅が始まる。
  - ②イスラエルの民は、エドムの地の東の境界線を北上して行く。

## II. エサウの子孫への配慮（2：4～6）

### 1. 4節

**Deu 2:4** 民に命じて言え。あなたがたは、セイルに住んでいるエサウの子ら、あなたがたの同族の領土内を通ろうとしている。彼らはあなたがたを恐れるであろう。ただし、あなたがたは十分に注意せよ。

- (1) セイルには、エサウの子孫が住んでいた。
  - ①エドム人は、エサウの子孫である。
  - ②イスラエル人は、ヤコブの子孫である。
  - ③両者は、兄弟関係にある。
- (2) エドムの地を通過する際に、戦争が起こる危険性があった。
  - ①一番考えられる可能性は、水争いである。
  - ②この地方の年間降雨量は、たった125ミリ（東京は1800ミリ以上）。
  - ③エドム人が大規模な民族移動を恐れるのは、当然のことである。  
\*イスラエル人の人口は、200万人以上いたと思われる。
- (3) 神は、エドム人の心を理解して、注意深く行動するように命じた。
  - ①エドムの地の東側を通過し、領土に侵入しないように。
  - ②戦いを仕掛けないように。

### 2. 5節

**Deu 2:5** 彼らに戦いを仕掛けてはならない。わたしは彼らの地を、足の裏で踏むほどさえも、あなたがたには与えない。わたしはエサウにセイルの山を、彼の所有地として与えたからである。

- (1) 戦いを仕掛けてはならない理由
  - ①エドムの地は、イスラエルに与えられたものではない。
  - ②セイルの山は、エサウとその子孫に所有地として与えられている。

- ③神は、すべての民の上に、またすべての領地の上に、主権を持っておられる。
- ④40年間荒野を放浪してきた民は、すぐにこの命令に従った。

### 3. 6節

**Deu 2:6** 食物は彼らから金で買って食べ、水も彼らから金で買って飲まなければならない。

- (1) 食物と水は、彼らから買う。
  - ①戦争を起こさないためである。
  - ②水を買うとは、井戸を掘る権利も含むと考えられる。
- (2) しかしエドム人は、イスラエルがその地を通過することさえ拒否した。

#### ①民 20 : 19~21

**Num 20:19** イスラエルの子らはエドムに言った。「私たちは大路を上って行きます。私たちと私たちの家畜があなたの水を飲むことがあれば、その代価を払います。歩いて通り過ぎるだけですから、何事でもありません。」

**Num 20:20** しかし、エドムは、「通ってはならない」と言って、強力な大軍勢を率いて彼らを迎え撃つために出て来た。

**Num 20:21** こうして、エドムはイスラエルにその領土を通らせることを拒んだので、イスラエルは彼のところから向きを変えた。

## III. 神の守り (2 : 7~8)

### 1. 7節

**Deu 2:7** 事実、あなたの神、【主】はあなたのしたすべてのことを祝福し、この広大な荒野でのあなたの旅を見守っていたのだ。この四十年の間、あなたの神、【主】はあなたとともにいて、あなたには何一つ欠けたものがなかった。」

- (1) 「【主】はあなたのしたすべてのことを祝福し、」
  - ①【主】は、イスラエルの民の「手の業」（新共同訳）を祝福された。
  - ②食糧や水は、必要なときに買うことができた。
  - ③家畜の頭数が増えた（民 32 : 1）。

**Num 32:1** ルベン族とガド族は、多くの家畜を持っていた。それは、おびただしい数であった。彼らがヤゼルの地とギルアデの地を見ると、その場所は家畜に適した場所であった。

- ④また、宿営した場所で農業を営み、富を増やしたことであろう。
- ⑤さらに、荒野で出会うキャラバン隊と交易し、富を増やしたことであろう。

- (2) 「この四十年の間、あなたの神、【主】はあなたとともにいて、あなたには

### 何一つ欠けたものがなかった」

- ①【主】は40年の間、イスラエルの民の旅を見守ってくださった。
- ②【主】はイスラエルの民とともにおられた。
- ③イスラエルの民には、何一つ欠けたものがなかった。
- ④それゆえ、エドムと戦わなくてもよい。

### 2. 8節

**Deu 2:8** それで私たちは、セイルに住むエサウの子孫である私たちの同族から離れ、アラバへの道から離れ、エイラトからも、またエツヨン・ゲベルからも離れて進んで行った。／そして、私たちは向きを変えて、モアブの荒野への道を進んで行った。

(1) イスラエルの民は、エドムの地を通過することを諦めた。

①申2:8 (新共同訳)

**Deu 2:8** 我々はセイルに住む親族エサウの子孫を離れ、エイラトとエツヨン・ゲベルからアラバを走る道を避けて向きを変え、モアブの荒野に通ずる道を通った。

②エドムを通過する道を避け、その東の道を通った。

\*エドムの東の道が、「モアブの荒野に通ずる道」である。

\*エイラト＝エツヨン・ゲベル（アカバ湾の港町）

\*エツヨン・ゲベルは後にエイラトと呼ばれるようになる。

③今イスラエルの民は、モアブの野にあってモーセの説教を聞いている。

### 結論

#### 1. 申2:7と詩23:1の対比

(1) 申2:7

**Deu 2:7** 事実、あなたの神、【主】はあなたのしたすべてのことを祝福し、この広大な荒野でのあなたの旅を見守っていたのだ。この四十年の間、あなたの神、【主】はあなたとともにいて、あなたには何一つ欠けたものがなかった。」

(2) 詩23:1

**Psa 23:1** 【主】は私の羊飼い。／私は乏しいことはありません。

(3) モーセは40年の旅を総括し、「何一つ欠けたものがなかった」と告白する。

(4) 詩23篇は、ダビデが晩年になって詠んだ詩篇である。

①ダビデも人生を総括し、「私は乏しいことはありません」と告白する。

(5) 神は、贅沢品を与えることはしない。

(6) しかし、生活の必需品は与えてくださる。

(7) **ヘブ13:5**

**Heb 13:5** 金銭を愛する生活をせずに、今持っているもので満足しなさい。主ご自身が「わたしは決してあなたを見放さず、あなたを見捨てない」と言われたからです。

## 2. エサウに対する約束から学ぶ教訓

### (1) 創 36 : 6~8

**Gen 36:6** エサウは、その妻たち、息子と娘たち、その家のすべての者、その群れとすべての家畜、カナンの地で得た全財産を携え、弟ヤコブから離れて別の地へ行った。

**Gen 36:7** 一緒に住むには所有する物が多すぎて、彼らの群れのために寄留していた地は、彼らを支えることができなかつたのである。

**Gen 36:8** それでエサウはセイルの山地に住んだ。エサウとは、エドムのことである。

- ①ヤコブは長子の権利を手に入れ、約束の地を相続する約束を得た。
- ②エサウは、セイルの山地に移り住んだ。
- ③神はその地を、エサウとその子孫に与えた。
- ④この地は岩場で、現在ペトラがある場所である。
- ⑤イスラエルの民は、この地に侵入することが許されなかつた。

### (2) 使 17 : 26

**Act 17:26** 神は、一人の人からあらゆる民を造り出して、地の全面に住ませ、それぞれに決められた時代と、住まいの境をお定めになりました。

- ①神は、それぞれの民のために国境を定めておられる。
- ②人類が経験してきた戦争は、そのほとんどが領土争いである。
- ③人類が神の主権に従うなら、平和が訪れる。

### (3) イスラエルの民への励まし

- ①神は、エサウに対する約束をお守りになる。
- ②それならば、自分たちに与えられた約束は、真実なものである。
- ③自分たちは契約の民である。
- ④カナン征服戦争は、道徳的、倫理的性格を宿している。

\*カナン人の罪を裁くための戦争である。

\*それゆえ、時には「聖戦」と呼ばれる(申7章)。

### (4) 1テモ 6 : 6~9

**1Ti 6:6** しかし、満ち足りる心を伴う敬虔こそが、大きな利益を得る道です。

**1Ti 6:7** 私たちは、何もこの世に持って来なかつたし、また、何かを持って出ることできません。

**1Ti 6:8** 衣食があれば、それで満足すべきです。

**1Ti 6:9** 金持ちになりたがる人たちは、誘惑と畏と、また人を滅びと破滅に沈める、愚かで有害な多くの欲望に陥ります。